

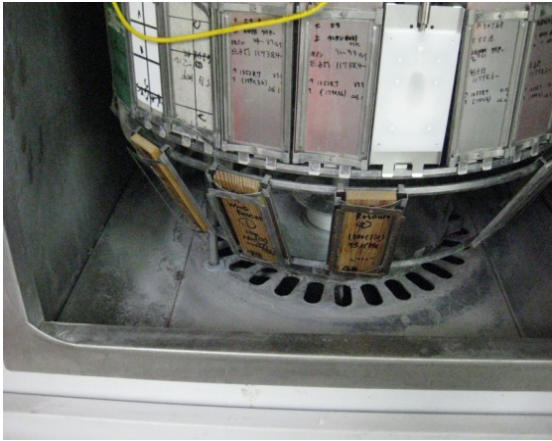
様

ガラス改質処理木材の試験報告書(キセノンサンシャインウエザオメータ6000時間対候性試験)

事業所:株式会社ニッコー
報告者:野沢晃広
連絡先:東京都杉並区上荻1-24-19シャイン荻窪
電話 03-3393-7631
mail glastics@gmail.com

表記の件について、下記のとおり報告します。

1-1 調査対象および調査の概要

項目	内容	
試験方法	名称	ニッコー液体ガラス処理・キセノンサンシャインウエザオメータ6000時間対候性試験
	試験方法	キセノンサンシャインウエザオメータ6000時間
	試験機名	アトラスCI6000
	試験機設置場所	埼玉県久喜市 (株)千代田塗料技術部
	試験期間	平成29年5月23日ー平成30年7月1日
	材料	杉材(国産材)
	試験者	(株)ニッコー 野沢晃広
	備考	目標としては年内も試験を続け10000時間を目標とする。
評価方法	日時	平成30年2月28日
	実施者	(株)千代田塗料技術部
	評価基準	6000時間の促進劣化試験で、ふくれ・われ・はがれがなく、色の変化の程度が処理前と比べ大きくないものとする。
	試験方法	目視とする。
備考	促進劣化試験の試験状況	

1-2 試験結果

	項目	所見	評価	今後の対応
キセノン促進劣化6000時間試験結果	ふくれ	認められない。	問題なし	—
	われ	認められない。	問題なし	—
	はがれ	認められない。	問題なし	—
	変色	認められる。	軽微な変色	—

ガラス処理木材 促進劣化試験6000時間



1-3 評価 キセノンランプによる促進試験は6000時間で屋外暴露で12年相当(立面において)以上とされる。クリアーの試験の結果、他社のクリアーは塗膜が脱落、あるいは白くなったが液体ガラス処理木材に関しては塗膜の脱落、変色などはなかった。クリアー塗装の場合、総じて変色が早い問題があるが、液体ガラス処理木材に関しては特の問題はなかった。